まなびだより

共に学び支え合う コミュニティの実現に向けた 公民館活動をめざして

～６公民館の活動報告～

問　社会教育課 ☎43-9026

《はじめに》

重要性を増す公民館の役割

新型コロナウイルス感染症の第５類移行後、町内各地区の創意工夫と努力によって、どの公民館も日々地域の皆さまが「つどう」「まなぶ」「結ぶ」こととなるよう、地域の特色に合ったさまざまな取り組みが進んできています。

また、人生100年時代。生涯にわたって継続的に学び続け、多様な学習機会を通じて自己の成長につながるように、学びを通して地域の方々が協力し合える関係づくりの一助へとなるような公民館活動をめざして取り組んでいます。

一方、令和６年度は野田川・岩滝地域、７年度の橋立中学校をもって、町内のすべての小・中学校に「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」が設置され、地域協働活動と連携して子どもたちのための活動を展開します。この取り組みは、地域に愛着と誇りを持てる学習の場であるとともに地域の活性化にもつながるものであり、公民館の役割はますます重要です。

こうしたさまざまな活動を通して、学校・家庭・地域が深く結びつき、共に学び支え合えるよりよい地域コミュニティを築いていければと思います。

加悦地域公民館
館長　山形 芳弘（やまがた よしひろ）

新調した香河地区内の案内看板（香河公民館）

見直そうふろしき講座の様子（知遊館）

夏休み子供教室の様子（上山田公民館）

岩滝地域公民館

多彩な事業で、子どもも大人も笑顔で元気に！

防災クッキング教室でポリ袋を使って調理する子どもたち

岩滝地域公民館（知遊館）では公民館事業として、水彩スケッチやストレッチなどの「高齢者教室」、児童対象のパステル絵画や茶道などの「土曜講座」、夏休みの宿題お助け講座や陶芸などの「夏休み体験教室」を行いました。

今年度は新しく「防災クッキング教室」を防災ママサークル「ままもりっこ」さんに依頼して開催。令和６年元日に能登半島地震が起きたこともあり、受付開始すぐに満員となりました。災害時を具体的に想像し、トイレや水、灯りなどの準備と工夫を話し合いました。また、災害時にも使用可能なカセットコンロで、ポリ袋に材料を入れてゆでるだけの蒸しパン作りをしました。ポリ袋調理のため洗い物はなく衛生的な上、おいしいと歓声が上がっていました。

生涯学習事業では「一般講座」としてコーラスやつまみ細工、ヨガ、己書（おのれしょ）などの９講座を開講。子どもの講座と同様、防災にも着目した「見直そうふろしき」の講座では、さまざまなふろしきの包み方や結び方から、ふろしきの良さを再確認。災害時は三角巾にしたり、頭巾にしたりする活用方法も学び、参加者からは「ぜひ活用したい」「またしてほしい」とありました。

知遊館の大きな事業として、人権啓発ユニット事業の映画会、ミュージックフェスタ、クリスマス音楽会、ぎゃらりぃ知遊館での展示を行いました。クリスマス音楽会では、以前から要望のあったジャズコンサートを計画。舞鶴市出身で大阪を中心に活動されている若手のすばらしいミュージシャンにお越しいただき、子どもさんから高齢の方まで体も心もノリノリの笑顔で盛り上がりました。

今後も公民館・生涯学習センターとして、地域の方々の声に寄り添い、世の中の動きやトレンドにもアンテナを張り、大人も子どもも多様な学びと文化芸術を活発に体験できる場所であり続けたいと思います。

中央公民館

楽しかった土曜講座

中央公民館では、子どもたちを対象とした事業に「年間を通して行う講座」、単発的な講座の「土曜講座」、夏休みの宿題にかかわる内容を中心とした「夏休み講座」に分けています。今回は、土曜講座の「折り紙教室」「スイーツ作り」を紹介します。

折り紙教室は、以前、全学年一緒に「折り紙クラブ」として年間を通して６回シリーズで行い、毎年20人以上の参加があり、活気あふれる講座でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大以降は、全学年を低・中・高学年別に変更し、単発的な講座として実施。令和６年10月に低学年（17人参加）を行い、ハロウィンに向けお化けやカボチャを折り、ハロウィンリースを作りました。同年11月には中学年（７人参加）を行い、クリスマスに向けサ